

## 追加接種の間隔短縮及び30才未満のファイザー接種の勧告

### □ 重症化による死亡の危険性を考慮し、追加接種(ブースターショット)の接種間隔を短縮

対象群	勧告する接種間隔	
	現 行	変 更
60才以上	6カ月	4カ月
感染脆弱施設の入所・従事者 <sup>1)</sup>		
療養病院・施設の入所・入所・従事者		
基礎疾患患者(18-59才)		
病院・医院など医療機関の従事者	6カ月	5カ月
50代		
優先接種の職業群 <sup>2)</sup>	2カ月	2カ月 (変更なし)
ヤンセンワクチンの接種者		
免疫低下者 <sup>3)</sup>		

1) 老人施設(住居、昼間/夜間/短期保護)、障害者施設(居住/昼間保護)、老人療養共同生活家庭、結核・ハンセン病患者の居住施設、ホームレスの居住及び利用施設

2) 軍人、警察、消防、海上警察、保健医療関係者、特殊保育及びオリニチブの看護関係者、特殊教育及び保健教師、矯正施設などの従事者、航空機乗務員など

3) 急性白血病、免疫抑制治療中の患者など

- 予約対象者は、本人の接種可能な時期の2週間前から新型コロナ予防接種事前予約ホームページ(<https://ncvr.kdca.go.kr>)で、予約可能(11月22日(月)以降)

\* 12月6日(月)以降での接種日の選択が可能

- 予約時期には、個別にメッセージでの対象の可否及び予約方法を案内

### □ 30才未満(1992年1月1日以降の出生)基本(1・2回)接種時、ファイザーワクチンを勧告

- 一部の国家では、モデルナワクチンの心筋炎・心膜炎の発生が、ファイザーワクチンより高いため先制的に対応

### □ 段階的な日常回復に伴う新型コロナの危険度評価

- 医療対応の力量を中心とした、多様な指標に対する総合的な危険度評価に従い、日常回復の段階または非常計画の施行などの措置
- 毎週評価し、4週間の段階評価後、日常回復への移行の可否を決定

<この翻訳はタヌリコールセンター1577-1366が担当しました。>